

# 読書の秋 図書館へ行ってみよう!



熊谷図書館は、明治45年4月、公立図書館として熊谷町立図書館が誕生して以来、今年で100周年となります。また、移動図書館「さくら号」は、昭和57年11月に巡回を開始して以来、30周年を迎えます。

10月27日～11月9日は読書週間です。図書館をさらに利用していただくために、各図書館を紹介いたします。

◆熊谷図書館  
TEL 0485254551



**図書館以外でも予約図書を受け取りや資料返却ができます!**

### ○予約図書の受取場所

熊谷駅の正面口から徒歩1分の安心館の熊谷図書館 熊谷駅前分室、熊谷文化創造館「さくらめい」と、妻沼中央公民館でも予約図書の受け取りができます。

### ○返却ポスト

本やCD・DVDの返却は、熊谷駅前分室、籠原駅(北口)市役所連絡所前、熊谷文化創造館に設置されている返却ポストでも可能です。



熊谷文化創造館の返却ポスト

### 大里図書館

駐車台数22台、その他体育館との共用駐車場200台

平成17年11月開館。市内で一番新しい図書館です。フロアもゆったりしていて、ゆつくり本が選べます。DVDソフトやインターネットコーナーも充実しています。また、



児童コーナーとお母さん向けの本を並べて配置していて、親子が近くで本を選べます。

### 妻沼図書館

駐車台数66台、その他中央公民館、展示館の共用駐車場が利用できます

平成3年に開館し、昨年で20周年となりました。児童サービスに定評があります。また中学生高校生向きの本を集めたヤングアダルトコーナーも好評です。



### 江南図書館

図書館近くに60台、その他文化会館との共用駐車場が利用できます

平成8年4月に開館。緑に囲まれた小高い静かな環境の中にたたずむ図書館です。児童コーナーと一般書のコーナーが離れているため、子どもも大人も読書しやすい環境で過ごしていただけます。



### 熊谷図書館

駐車台数64台、文化会館、プラネタリウム館と共用

県内でも歴史のある図書館です。市立図書館の中心館です。郷土資料や参考図書なども多くの蔵書がそろっていますので、調べ物やレファレンスサービス等でご利用ください。全国の電話帳も所蔵しています。



### 美術・郷土資料展示室(3階)

#### 美術展示室

年に4回の企画展を行っています。

春…絵画などの美術品など  
夏…夏休みに合わせて自然科学資料など  
秋…郷土熊谷で特に重要な事柄についての特別展など  
冬…所蔵品や民俗に関する展示など

テーマによっては、国指定重要文化財なども展示します。

来年1月26日(土)から、市立図書館100周年記念事業として「文学のまち・くまがや展」を開催し、金子兜太氏や森村誠一氏の記念講演会も計画しています。詳しくは市報11月号でお知らせします。

入場は無料で、パンフレットなども無料配布しています。そのほか、企画展などに関する資料を取りまとめた書籍の発行・販売も行っています。



#### 郷土資料展示室

熊谷の原始・古代から現代までの主な出来事に関する資料や作品を展示しています。

時代区分	展示内容
原始・古代	市内の発掘調査で発見された出土品
中世	熊谷次郎直実・法力房蓮生法師の一生や板石塔婆など
近世	熊谷宿の本陣・竹井家で所蔵していた高札(市指定文化財) など
近代・現代	266名の尊い命を犠牲にした熊谷空襲や本市を代表する作家・森村誠一氏のコーナーなど

#### ミニ企画展示コーナー

所蔵する美術品を中心に四半期ごとに展示替えを行っています。



団体で見学される方には、展示解説を行います。(要申込み)

### 移動図書館「さくら号」

図書館から遠い地域に巡回し図書館サービスを行っています。詳しくは巡回予定表(24ページ)をご覧ください。



熊谷市国民健康保険にご加入の方へお知らせ

## 大切なあなたを守る特定健診！ 10月は特定健診の啓発強化月間です。年に一度は必ず受診しましょう！

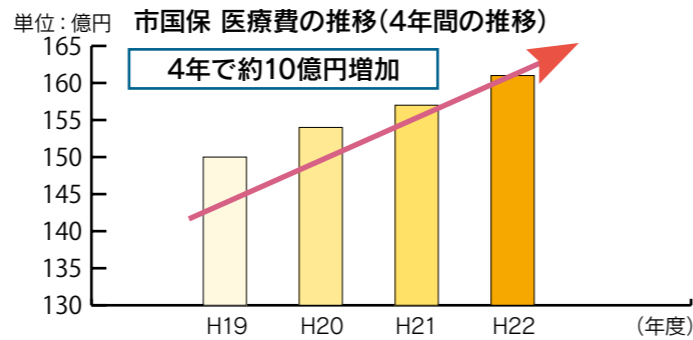
特定健診は、40歳～74歳の方を対象にした健康診断の制度で、生活習慣病の予防を目的とし、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診です。 ◆保険年金課 ☎内線 279

生活習慣病は、毎日のよくない生活習慣の積み重ねによって起こる病気です。しかし、出血や痛みを伴う病気とは違って、自覚症状がほとんどありません。近年は日本人の死亡者の3分の2近くの方が、生活習慣病が原因で亡くなっています。熊谷市国民健康保険(市国保)でも、医療費が毎年増加傾向にあり(右上グラフ)、医療費構成率から見ても、糖尿病、高血圧、高脂血症をはじめとする生活習慣病が全体の約4割を占めている状況です。(右下グラフ)

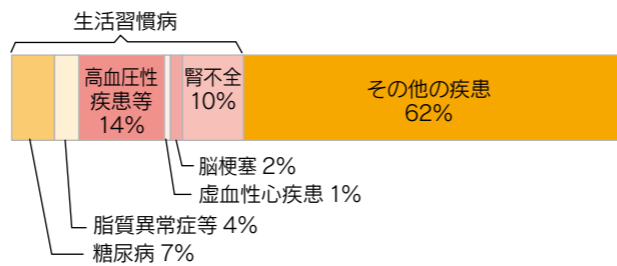
市国保では、熊谷市医師会に委託し、市内の82医療機関で特定健診を無料で受けられます。(詳しくは22ページをご覧ください。)生活習慣病予防のための特定健診・特定保健指導を積極的に利用し、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を身につけましょう。

### 特定保健指導とは？

特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い方には保健師が生活習慣を見直すサポートを行います。対象の方には熊谷保健センターからご案内します。ぜひご参加ください。



### 市国保 医療費構成率(入院外)



提供: 埼玉県国民健康保険団体連合会

### 特定健診受診者に抽選でプレゼント！

市国保では、特定健診を受診した方の中から抽選でプレゼントを差し上げます。(抽選は2回行います。)

対象 平成24年度の市国保の特定健診対象者で、特定健診を受診した方。(市国保の助成を受け人間ドックを受診した方を除く。)

抽選 1回目:10月末までに受診した方の中から 2回目:11月から平成25年1月末までに受診した方の中から

当選発表 1回目の抽選は平成25年1月に、2回目の抽選は平成25年3月に、当選者に賞品を発送します。抽選結果は当選者の特定健診受診券番号を市ホームページに掲載するほか、保険年金課、各行政センターに掲示します。

#### 抽選で当たる賞品

1等	旅行券 5万円	1人
2等	旅行券 1万円	2人
3等	ジュース	2人
4等	万歩計	100人

### ニャオざねが「けんこう大使」になりました！

5月21日、ニャオざねが埼玉県知事から「けんこう大使」に任命されました。特定健診の受診率向上のため、市内や県内でキャンペーンを行っています。特定健診の受診率向上にぜひご協力ください！



### たっぷり収穫 ブルーベリー

8月19日、「グリーンツアーズムイン 江南」が行われ、参加者の皆さんはブルーベリー狩りを楽しみました。



### 地元で愛される 毎年行われている 権八地蔵祭り

8月24日夕方、荒川堤下の上久下にある権八地蔵を祀る地蔵堂でお祭りが行われ、ご開帳された権八地蔵を地元のみなさんが参拝に訪れました。



### 天を焦がす神聖な火柱

8月27日、大我井神社(富士浅間神社)で火祭りが行われました。大迫力の火柱と花火の競演の後、火除けのお守りにするため、多くの方が薪の炭を持ち帰りました。



### 平和への祈りを込めて

熊谷空襲により亡くなられた多くの人のめい福を祈り、8月16日、星川でとうろう流しが行われました。



### ラグビー公式戦 ポスター表彰式

9月9日、熊谷ラグビー場で行われた第92回全国高校ラグビー埼玉県大会開会式で、平成24年度ラグビー公式戦ポスターの入選者の表彰が行われました。

今月のテーマ「大みそかの過ごし方」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

#### 応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「大みそかの過ごし方」のコメントを必ず記入し、10月23日(火)までにご応募ください(一人につき一通)。  
※コメントがないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課

☐ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていたらという趣旨で、当選者には月末頃にプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

#### 7月号の正解

①63 ②人権

◆応募総数34通中、正解31通

#### 今月の問題

次の□に入ることを、それぞれお答えください。  
①大切なあなたを守る □ 健診!  
②10月□日は浄化槽の日です。

#### 今月のプレゼント

シネティアラ21ご提供の、**のぼうの城 無料映画鑑賞券**を、正解者の中から抽選で**10人**に差し上げます。

シネティアラ21

所在地: 筑波3-202 ティアラ21ビル8F  
電話: 048-599-2222

### 読んで当てよう 市報クイズ



市報クイズ8月号で寄せられたご意見を紹介します。

### おたよりパレット

テーマ

#### 「秋の夜長の過ごし方」

熊谷の暑さもようやく落ち着き、過ごしやすくなってきました。秋の夜長には、日頃の忙しさを忘れゆっくり過ごす方が多いようです。みなさんも絶好のこの季節に至福の時を十二分に楽しませてはいかがでしょうか。 ※おたよりパレットは、市ホームページでも更詳しく紹介しています ▶ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

●自宅は庭が芝生のため秋になると様々な虫達の声を聞きながら一杯やるのが風物詩になっています。とても心が落ち着きます。(50代・男性)

●床につくの夜の九時すぎ、高齢のため視力がおちたのでもっぱらラジオが友だち。眠気がさすまで放送にききいります。NHKの深夜便は、何より楽しみです。(80代・女性)

●遊びに行ってもすぐ帰って、家族と今日あったことなどを話しています。(中学生)

●勤めていた頃は酒盃を傾けながら季節感をあじわうことが多かったが、近年はエコや節電を意識しながら早めの就寝を心がけている。(70代・男性)

●ベランダに置いた木製のベンチに座って、家族そろって空を見上げる…。これがちょっとぜいたくな時間です。(40代・女性)

# 夢追い人

毎日が勝負!熊高卒のコンビで  
お笑いの頂点を目指す

内田英輔さん、長谷川ヨシテルさん  
(お笑い芸人「あかいらか」・熊谷高校出身)



内田英輔さん

長谷川ヨシテルさん

コンビを組んだのは大学を卒業してから養成所に入る前です。お互いお笑い一本で行こうと、特

## 芸人への第一歩

### 自分とお笑いを信じて

他の進路は考えませんでした。やはり一番緊張したのは初舞台ですね。今でも記憶に残っています。相方は「俺は全然緊張しないタイプだから」と言っていたのに、いざ始まってみると手がブルブル震えていました。(内田さん)

一度、舞台でうけることの嬉しさを知ると、もうやめられないですね。中毒です。あの感覚は体験してみないと分からないですが、思い出すだけでも震えがきますよ。事務所の先輩の堀内健さんやロッチさん達と被災地へ笑いを届けに行つたのですが、皆喜んでくれてお笑いの素晴らしさを改めて感じました。

まだまだお笑いだけでは食べていけないので、アルバイトをして生計を立てています。この生活がいつまで続くのだろうと思うと辛いこともありますが、お客さんの笑顔と自分たちとお笑いの可能性を信じて続けています。

### 「我が名をあげよ、雲の上まで」

9月にコンビでテレビ初出演を果し、目標の第一歩をクリアしました。現在の事務所所属して1年近く経ちますが、次の大きな目標はデビュー10年以内の冠番組を持つことです。「あかいらか」の名前を全国に広めた



ライブでのあかいらか

いんです。

私は、歴史好きで歴史作家と芸人一戦国時代に詳しいという肩書きを持っています。自分のキャッチフレーズの「わが名をあげよ、雲の上まで」は好きな戦国武将、足利義輝の言葉で、この言葉通り、上を目指して行きたいです。地元の武将、熊谷直実についても調べているので、いつか本を書きたいですね。(長谷川さん)

お互いブログをやっているのでは非みてください。ライブ情報も載っています。

そして、是非ライブにきて生の「あかいらか」の面白さにふれてください。お待ちしております。

長谷川さんのブログ「我が名をあげよ、雲の上まで」  
(http://ameblo.jp/yoshiteru-hasegawa)  
内田さんのブログ「マーボー豆腐は中華です」  
(http://ameblo.jp/uchiraka)



市内の名所やちょっとした景色を楽しみながら、ウォーキングができるコースをご紹介します。運動不足解消や新たな熊谷の発見など、楽しみ方をさがすのも良いかもしれませんね。

◆スポーツ振興課 ☎ 内線 391

## 第12回 荒川大橋～久下橋周回コース

歩く距離 約8.3km

- A 市民体育館 (1,000 m)
- ↓
- B 荒川大橋 (3,300 m)
- ↓
- C 切所沼 (900m)
- ↓
- D 久下橋 (800m)
- ↓
- E 権八地藏 (2,300 m)
- ↓
- A 市民体育館



ウォーキングのポイント

- ・歩幅は、肩幅の1.5倍が目安。
- ・自分のペースで風を感じる速さで歩く。
- ・専用シューズを利用してアクティブに。

### コースの概要

市民体育館をスタートし、荒川大橋、久下橋を渡って周回する約8.3kmの荒川堤を歩くコースです。途中には切所沼、権八地藏などの見所があります。

春には、熊谷桜堤の美しい桜並木が見られ、冬には久下橋から富士山を見ることができます。



C 地点付近



E 地点付近

歩いた成果は・・・

歩いた距離をウォーキングポイントカードに記録し、300kmに達した方には、ささやかな景品を贈呈します。カードは、スポーツ振興課に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

## 人口と世帯

●平成24年9月1日現在(対前月比)

■人口 203,661人(-5) 男 101,628人(-33) 女 102,033人(+28) ■世帯 82,235(+30)

「市報くまがや」10月号は、72,300部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。